

# 業界の声

情報連絡員

山梨生コンクリート 協同組合

小林正敏氏



## 現在の組合状況は？

建設業者の不況に伴い組合員企業の受注状況は非常に厳しくなっています。特に、メイン事業とも言える公共事業が全盛期の半分程度になった事が最大の原因として考えられます。

## 組合として力を入れていることは？

現在業界では、集約化による経費の削減と、価格設定の適正化について活動を行っています。

集約化については共同販売の促進を行うこと、価格設定の適正化については、出荷数量の減少による経営環境の悪化を正常化するべく適正価格設定が課題になっています。もちろん、大量受注業者と少量受注業者に対して同様の価格設定をすることは難しいと思いますが、低い価格設定を基準にされないよう活動していきたいですね。

## 組合として今後取り組んで行くことは？

組合は組合員をサポートするために存在していますので、共販事業がスムーズに行えるよう、員外企業にも積極的に声を掛け参加を

要請して行きたいですね。

また、組合が所有する共同試験場は、全国的にみても優れている施設と考えているので、組合の財産としてより一層の活用を推進していきたいですね。

## 趣味は？

趣味とは多少違うかも知れませんが若い頃から空手を習っています。ただ、最近では自分が行うことより指導することがメインになっていますね。

